

研究課題番号	5-2007
研究課題名	PM2.5 の脳循環および脳梗塞予後に及ぼす影響の解析
研究実施期間	2020 年度～2022 年度
研究機関名	広島大学
研究代表者名	石原 康宏

1. 委員の指摘及び提言概要

PM2.5 に含まれる PAHs やエンドトキシンの曝露による脳の炎症、脳梗塞予後悪化との因果関係を調べるマウスモデルの確立に成功しており、PM2.5 の健康影響で重要な脳梗塞の予後についての重要な成果がえられたと考えられる。マウス試験が著しく高濃度で実施されているので、実環境に近い低濃度の評価や疫学調査との関連などについても検討してほしい。また、脳梗塞を起こしてから PM2.5 を曝露する実験系にするならば、より低い用量の PM2.5 で予後への影響が観察された可能性がある。なお、PM2.5 中エンドトキシンについて、福岡や横浜で濃度変化が大きく、予後に及ぼす影響について地域性のあることを示唆する結果は評価できる。

2. 採点結果

評価ランク：A